［参考］提出書類の記入例

１．国債応募金額内訳明細書

記載上の注意事項は裏面参照

国債応募金額内訳明細書

（日付）3. 12. 27

提出日付を記入

日 本 銀 行　　御中

（金融機関等名）

株式会社　○○銀行

（取扱機関コード）
0015

下記の国債について別紙のとおり応募金額の内訳明細を報告します。

記

発　行　日	年	月	日
	04	01	07

国　債　名　称　・　記　号	応　募　金　額 （　額　面　金　額　）
利付国庫債券（２年） 第４３１回	千円 ＊3,776,150
利付国庫債券（１０年） 第３６４回	千円 ＊71,700
	千円
	千円

（注意事項）の１．（１）参照

対 象 先 数	6

（注意事項）の１．（２）参照

（日本銀行使用欄）

国債応募金額内訳明細書

注　意　事　項

日 本 銀 行

１．国債の発行等に関する省令第６条に規定する募集の取扱いの方法により発行される国債の場合

（１）応募金額欄には、参加者募集取扱機関が自己の下位機関である非単独間接参加者募集取扱機関の応募金額を取りまとめる場合には、自己および当該非単独間接参加者募集取扱機関の応募金額の銘柄別の合計を記入して下さい。また、募集取りまとめ参加者の場合には、自己の下位機関である非単独間接参加者募集取扱機関の応募金額の銘柄別の合計を記入して下さい。

（２）対象先数欄には、本明細書により応募金額の内訳の報告を行う募集取扱機関の数を記入して下さい（参加者募集取扱機関が自己の下位機関である非単独間接参加者募集取扱機関の応募金額を取りまとめる場合には当該非単独間接参加者募集取扱機関の数に１を加えた数を、募集取りまとめ参加者の場合には自己の下位機関である非単独間接参加者募集取扱機関の数を記入して下さい。)。

２．個人向け国債の場合

（１）応募金額欄には、参加者取扱機関が自己の下位機関である非単独間接参加者取扱機関の応募金額を取りまとめる場合には、自己および当該非単独間接参加者取扱機関の応募金額の銘柄別の合計を記入して下さい。また、取りまとめ参加者の場合には、自己の下位機関である非単独間接参加者取扱機関の応募金額の銘柄別の合計を記入して下さい。

（２）対象先数欄には、本明細書により応募金額の内訳の報告を行う取扱機関の数を記入して下さい（参加者取扱機関が自己の下位機関である非単独間接参加者取扱機関の応募金額を取りまとめる場合には当該非単独間接参加者取扱機関の数に１を加えた数を、取りまとめ参加者の場合には自己の下位機関である非単独間接参加者取扱機関の数を記入して下さい。)。

（書式適宜）

別　紙

「別紙」と記入

内　訳　明　細　表

参加者募集取扱機関の応募金額を記入
（募集取りまとめ参加者の場合には記入不要）

募集取扱機関名	応募金額（千円）			
	利付国庫債券（2年）	利付国庫債券（１０年）		
株式会社○○銀行	２，２３０，４５０	４５，０００		
株式会社●●証券	８６３，７５０	１４，４００		
株式会社△△証券	５８３，８００	０		
株式会社◇◇証券	４０，０００	１２，３００		
株式会社□□銀行	５８，１５０	０		
株式会社××銀行	０	０		
合　　計	３，７７６，１５０	７１，７００		

自己の下位機関である非単独間接参加者募集取扱機関の応募金額を記入

２．国債応募金額報告書

業務処理区分
７２５２０２

記載上の注意事項は裏面参照

国債応募金額報告書

（日付）4.11.29

提出日付を記入

日 本 銀 行

○ ○ 支 店　御中

本店の場合には「業務局」と記入

（金融機関等名）

株式会社　○○銀行

送信区分コード	1

（取扱機関コード）
0015

下記のとおり国債の応募を受付けましたので報告します。

記

国債名称・記号（コード）	利付国庫債券（10 年）第 368 回													発行方法コード	発行日 年	発行日 月	発行日 日
	J	P	1	1	0	3	6	8	1	N	A	2	4	7	04	12	08

応募金額（額面金額）	千円 ＊71,700

（注意事項）の１．（１）参照

※日本銀行では、所定の規則に基づき、日本銀行業務オンラインにより本書が提出された場合には、代表者またはその者から権限を付与された者から提出されたものとして取扱います。

（日本銀行使用欄）

国債応募金額報告書

注　意　事　項

日 本 銀 行

１．国債の発行等に関する省令第６条に規定する募集の取扱いの方法により発行される国債の場合

（１）応募金額欄には、参加者募集取扱機関が自己の下位機関である非単独間接参加者募集取扱機関の応募金額を取りまとめる場合には、自己および当該非単独間接参加者募集取扱機関の応募金額の合計を記入して下さい。また、募集取りまとめ参加者の場合には、自己の下位機関である非単独間接参加者募集取扱機関の応募金額の合計を記入して下さい。

（２）下位機関に非単独間接参加者募集取扱機関を有する参加者募集取扱機関および募集取りまとめ参加者は、本書を提出するほか、本書により応募金額の報告を行う募集取扱機関毎の同金額の内訳を記載した「国債応募金額内訳明細書」を提出して下さい。

２．個人向け国債の場合

（１）応募金額欄には、参加者取扱機関が自己の下位機関である非単独間接参加者取扱機関の応募金額を取りまとめる場合には、自己および当該非単独間接参加者取扱機関の応募金額の合計を記入して下さい。また、取りまとめ参加者の場合には、自己の下位機関である非単独間接参加者取扱機関の応募金額の合計を記入して下さい。

（２）下位機関に非単独間接参加者取扱機関を有する参加者取扱機関および取りまとめ参加者は、本書を提出するほか、本書により応募金額の報告を行う取扱機関毎の同金額の内訳を記載した「国債応募金額内訳明細書」を提出して下さい。

３．国債払込金額等通知書

記載上の注意事項は裏面参照

提出日付を記入

↓

国債払込金額等通知書

（提出日）４．１２．７

日 本 銀 行
○ ○ 支 店　　御中

↑

本店の場合には「業務局」と記入

（払込者）

株式会社　○○銀行

銘　柄	利付国庫債券（１０年）第 ３６８ 回	発行日					
			年		月		日
		０	４	１	２	０	８

	兆	拾億	百万	千	円
額面金額			７１	７００	０００
応募払込代金 (a)			７１	７００	０００
経過利子 (b)				１７	６７９
払込金額 (a) ＋ (b)			７１	７１７	６７９

（日本銀行使用欄）

国債払込金額等通知書

注　意　事　項

日 本 銀 行

１．この通知書は、利付国債の場合にのみ提出して下さい（「国債振替決済新規記録事項等通知書」に添付して下さい。）。

２．経過利子は、次の計算式により算出して下さい（円位未満切捨て）。

（１）物価連動国債以外の場合

額面金額×利率（年）×未発行期間÷365

（２）物価連動国債の場合

額面金額×発行日における連動係数×利率（年）×未発行期間÷365

なお、未発行期間は、初期利子支払期の６か月前応当日の翌日から起算して発行日までの日数（個人向け国債の場合および発行日が初期利子支払期の６か月前応当日である利付国債（個人向け国債を除きます。）の場合には、ゼロ）とします。

３．経過利子の払込が不要である場合（個人向け国債の場合および発行日が初期利子支払期の６か月前応当日である利付国債（個人向け国債を除きます。）の場合）であっても、「経過利子」欄および「払込金額」欄への記載を行って下さい（この場合、「経過利子」欄には「０」と記載し、「払込金額」欄には「応募払込代金」欄に記載した金額を記載して下さい。）。

４．日本銀行では、所定の規則に基づき、日本銀行業務オンラインにより本書が提出された場合には、代表者または代表者から権限を付与された者から提出されたものとして取扱います。